南大隅町

みんなの議会

第84号
令和８年５月号

開かれた議会を目指して
～議会報告会～

予算	令和８年度当初予算	2～5
予算	予算審査特別委員会（予算審議）より	6～7
審議	私の判断	8
審議	討論	9
町政を問う	一般質問 ９名が登壇	10～15
調査	研修・所管事務調査報告	16～17
	編集後記　他	18

「議会だより」
読者アンケート

令和8年5月31日まで

当初予算

3月会議

一般会計　99億8,430万円

（令和７年度との比較　22億7,000万円の増額）

３月会議が２月27日～３月19日までの21日間の日程で開会されました。

今回の会議では、令和７年度一般会計（２億9,116万円減額の84億9,182万円）と５つの特別会計、２つの企業会計の補正予算に加え、工事請負契約変更３件、財産の無償貸付２件、条例改正等２件を採択しました。

また、令和８年度の一般会計当初予算を賛成多数で、国民健康保険事業特別会計など５つの特別会計と水道事業・下水道事業の企業会計を全会一致で可決しました。その他、特用林産物出荷加工センターの利用料金改定の条例改正や観光施設等の指定管理者の選定、固定資産評価委員会委員と監査委員の選任に同意、過疎地域持続発展計画の策定を可決しました。

令和８年度当初予算の提案にあたり、町長の施政方針に続き予算審査特別委員会に付託され、４日間の審査を実施しました。一般会計当初予算は、前年度当初予算比較で22億7,000万円の増額になりましたが、主に肝属郡医師会立病院再整備建替工事に16億493万円、神山小学校屋内運動場建替工事に10億４,329万円が計上された予算です。

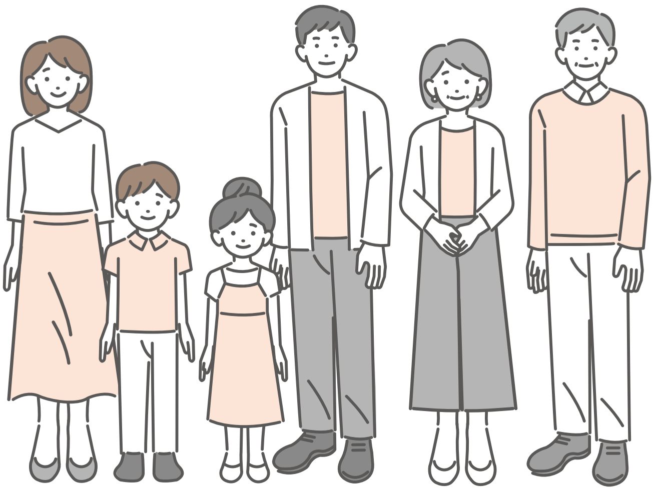
また、新規事業として、男女共同参画基本計画や地域福祉計画、防災マップ等の各種計画改定や機能別消防分団の設立、特定地域づくり事業協同組合支援事業、ホームページのリニューアル、介護タクシー通院等助成事業、高校生みらい応援給付金事業、サツマイモ基腐病排水対策事業、道路作業用重機（バックホー）購入事業、公共施設予約システム導入事業など、町民生活に直結する多くの予算について、今回から各議案に対する議員間討議を実施したのち原案どおり可決しました。

主な事業や予算委員会での審議内容については次項に掲載します。

（注意：万円単位で記載しているため、合計金額が合致しませんのでご了承ください。）

（単位：万円）

歳入		比率（%）
地方交付税	364,361	36.5
町債	267,720	26.8
繰入金	115,685	11.6
県支出金	70,894	7.1
国庫支出金	68,526	6.9
町税	52,806	5.3
その他（16項目）	58,435	5.8
合計	998,430	100



【特別会計】

（単位：万円）

国民健康保険事業	114,130
診療所事業	13,158
介護保険（保険勘定）	118,922
介護保険（サービス勘定）	1,999
後期高齢者医療事業	15,874

（単位：万円）

水道事業	収益的支出	28,691
	資本的支出	10,188
下水道事業	収益的支出	5,509
	資本的支出	1,121
令和８年度　町の全体予算額		1,308,025

令和8年度 過去最大規模の

投資的経費が大幅増

肝属郡医師会立病院再整備事業 16億 493万円

※令和８年度支払額

本体工事費（完成払）	117,172万円
本体工事費（分離発注）	7,780万円
工事監理費	1,449万円
開院支援費	141万円
建築支援費	30万円
医療機器等備品費	33,920万円

◆令和９年７月の開業を目指します。

（単位：万円）

歳出			比率（%）
義務的経費	人件費	134,473	13.5
	扶助費	98,290	9.8
	公債費	117,572	11.8
	（小計）	350,335	35.1
投資的経費	普通建設事業費	310,562	31.1
	災害復旧事業費	6,578	0.7
	（小計）	317,140	31.8
その他の経費	物件費	138,248	13.8
	維持補修費	14,172	1.4
	補助費等	125,750	12.6
	積立金	5,044	0.5
	繰出金	47,238	4.7
	（小計）	330,453	33.1
	予備費	500	0.1
	合計	998,430	100

義務的経費とは？

・地方公共団体や国の歳出のうち、法令や規則で支出が義務付けられており、予算上任意に削減することが難しい経費を指します。このため財政が厳しい場合であっても削減が困難であり、自治体の財政運営において重要な位置を占め義務的経費が増加すると歳出の裁量や選択の余地が制約され、自由に使える財源が減少し財政の硬直化につながる要素を含んだ経費です。

投資的経費とは？

・長期的な収益や資本形成を目的として支出され、将来にわたり効果が見込める費用のことです。
具体的には、道路・橋・公園・学校・公営住宅などの社会資本の整備に必要な費用が代表例です。

令和8年度 新規事業5選

神山小学校屋内運動場建替事業

10億4,329万円

鉄筋コンクリート平屋建て　112,087㎡
工事請負費　100,699万円
工事監理費　1,931万円
既存解体設計委託料　1,698万円

ミニバスケットコート　2面・バドミントンコート　3面
バレーボールコート（9人制1面・6人制2面・小学生2面）
室内冷暖房空調　個別パッケージ　10基

道路作業用重機購入事業

722万円

草刈り用バックホーを購入し作業軽減と効率化を図り、道路の景観形成維持と安心安全な交通体制に寄与します。

※イメージです

機能別分団事業

256万円

消防団が地域の特性や課題に応じた具体的な機能を持ち、効率的・効果的に災害に対応できる体制を構築するため、機能別分団の発足を目指します。

地域おこし協力隊（空き家相談員）事業

199万円

空き家に特化した取り組みを充実させ、空き家バンクのリニューアル設計、移住者への情報提供やマッチングなど専門分野としての活動を強化する事業です。

高校生みらい応援給付金

1,800万円

感受性の高い高校時代に、多様な体験や多くの事柄へのチャレンジを支援することで、未来を担い人材を育成することを目的に、高校生を扶養している世帯に応援給付金を支給する事業です。

あなたが知りたい

継続事業5選

特定地域づくり事業協同組合支援事業

1,175万円

「特定地域づくり事業」とは、人口減少地域が特定地域事業を行う場合に、県知事が一定の要件を満たすと認定した時、労働者派遣事業を届け出のみで実施することを可能とするとともに、財政措置を受けることができる制度です。本町においても、人材不足や担い手不足等により経営力強化に不安を抱える事業者への支援や、移住者·Uターン者等の帰省ハードルを下げ、地域活性化に取り組む組織の設立と財政支援を行う事業です。

商店街街路灯新設改修事業

6,182万円

根占地区商店街の街路灯を新設·改修する事業です。

諏訪上地区　10基
諏訪下通り　36基

産業振興支援事業

1,819万円

第一次産業の担い手確保対策として、(農業、漁業、林業)資機材購入や施設整備に要する経費の一部を補助します。

- ·資機材購入や施設整備
- ·労働環境改善設備
- ·スマート関連経費
- ·省力化対策
- ·生きがい支援(70歳以上が対象)

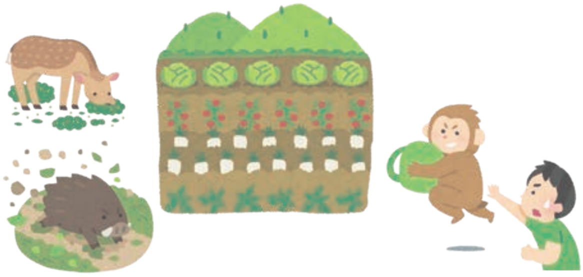
鳥獣害防止総合支援事業

1,446万円

鳥獣被害対策実施隊事業

750万円

鳥獣による農作物被害対策のため、上段は捕獲と侵入防止を講じる事業で、下段は鳥獣の生息状況及び被害発生時期の調査、捕獲駆除、町内の巡回を行う事業です。



食の自立支援事業(配食事業)

3,853万円

諸々の事情により食事を作れない高齢者などに栄養バランスの取れた食事を宅配し、併せて安否確認も同時に行う事業です。

予算審査特別委員会
津﨑委員長

令和８年度当初予算は、予算審査特別委員会が設置され、委員長に津崎淳子議員、副委員長に肥後玄十議員が選任。３月３日から10日までの実質４日間で審査しました。

以下は審査の中で出された意見、要望を抜粋したものです。
真摯に検討し、予算の適正執行に努めていただきたい。未来につながる持続可能な自治体を目指して議会も努力・協力してまいります。

課　名	質　疑　内　容	答　弁
経　済　課	アンモニアメッシュ購入費の全額補助はいかがなものか？	自助努力もあるが限界以上は行政支援で対応
	辺田地区のワイヤーメッシュ補修に関し地元との調整は？	維持管理について検討協議を行い万全を図る
	特用林産物出荷加工センター利用料の値上げ理由は何か？	新たに保冷庫を整備したので電気料等の増額対応
建　設　課	道路作業用重機（バックホー）の活用方法は？	町道、農道、林道、河川等の除草作業に対応予定
	バックホーは自治会や集落内作業にも貸出できるのか？	町からシルバーへの委託業務のみ対応可能
	道路新設改良費の委託料 500 万は諏訪中線の設計委託料か？	塩入横別府線の交差点協議等に資する設計委託料
教育振興課	高校存続事業費の一部と高校生みらい応援給付金の重複性は？	使途の一部に重複を感じるも目的が異なるもの
	授業料無償化で町外進学が進むが高校存続との矛盾はどうか？	矛盾は感じるも町外進学、存続の双方を支援
	神山小体育館建設場所の町道側石垣強度は大丈夫か？	現設計では大丈夫だとの判断であるが再度確認へ
総　　括	高校生みらい応援給付金に公平性や扶助費としての必要性は？	制度を十分検討し経費過重な高校生世帯を支援
	上記給付金は扶助費であるが継続的な給付を考えるか？	町長任期の間は続けたい
	100 億弱の予算規模に加え、今後の町民要望を汲む予算規模は？	本年度は町民生活に影響を及ぼさぬよう努める
	自治体独自の扶助費執行は行政原理に基づく条例制定を勧める	要望事項のため答弁なし

こう見た！

「介護支援を手厚く！」
介護支援に係る施策・予算をもう少し手厚くできないか工夫して欲しい。
浪瀬

まだまだ無駄な予算が多いと感じる。今と未来のために力強い予算編成を！
平瀬

「高校生みらい応援給付金」
子どもの進学に合わせ転出する事例が多い町。地理的条件に左右されず、誰もが平等に教育を受けられる事業と考える。
大坪

「自治会単位から地区公民館単位への支援を！」
地区公民館育成事業に関し、人口減少下で自治会単位での活動が困難な時代へ。
諸々の活動で世代間交流を活発化し、地区公民館単位での問題解決のための予算を求める。
松元

町民の安心・安全な暮らしに寄与するため、公平で公正な予算執行を！
田中

予算審査特別委員会（予算審議）より

課　名	質　疑　内　容	答　弁
総務課	国勢調査結果で人口や道路延長等の増減で交付税の増減額は？	総体的に増額で見込む
	普通建設費を除いても増額予算であるが公共事業の先送りは？	予算編成時に十分な協議をし建設費等を調整した
	機能別分団員の募集状況や周知方法は？	現在まで周知していない。今後の会議等で検討
	被災者生活再建支援金の基金積立計画は？	財政状況を見ながら可能な時期の実施を検討中
企画観光課	移住策、関係人口に係る事業は地方創生予算で取り組むべきでは？	明確な線引きはない。自治体判断で今後検討する
	ふるさと納税額の積算根拠は？　新たな取り組みがあるか？	1億円を目標にするも予算は実績の7千万円とした
	観光協会の大幅な運営体制の見直しとあるが、詳細は？	1人体制から3.5人体制を見込み業務の多様化へ
	夏祭り等のイベント開催を佐多地区でも計画して欲しい	各実行委員会と協議の上、実施に向けた検討へ
デジタル推進課	ガバメントクラウドに係る経費は、毎年同程度が必要か？	県内で経費削減の事例もある。経費削減に注力
	窓口キャッシュレス事業の運用開始は？	新年度の交付決定を待って夏頃を目途に運用開始
町民保健課	環境美化指導員事業の業務内容は？	担当区の巡回や住民へのゴミ出し注意喚起など
	予防接種事業（帯状疱疹）の年齢適用があるのか？	定期外予防接種で、50歳以上を対象にしている
	国民健康保険基金の残高は大丈夫か、今後の見通しは？	歳出抑制と保険事業の徹底を図り医療費削減へ
介護福祉課	介護タクシー通院等助成事業の制度内容は？	在宅高齢者や身障者で常時車イスを使用する方が通院に要する介護タクシー代の一部を助成
	配食事業・シルバーは人件費アップも考慮しての増額予算か？	物価高騰による食材、燃料費に加え人件費も含む
	高校生みらい応援給付金は一律給付か、所得制限はないのか？	高校生のいる世帯全てが対象。制度設計で再検討

当初予算 議員は

総花的な政策が多く見受けられ、今後増額が予想される予算とみる。

水谷

「観光協会の運営充実を！」

観光協会運営補助金に関して、大幅な運営体制の見直しや収益事業への取り組みに期待する。

後藤

「南大隅高校存続の対策につながるのか」

高校生みらい応援給付金事業は、南大隅高校存続対策ともしているが、高校生のいる家庭への給付がその対策になるか疑問。

肥後

「公平性と実効性を欠く」

高校生みらい応援給付金事業に関して、国の助成と重なり町財源を損なう事業であり、具体的な制度設計もなく実効性を欠くものである。

森田

「財政の安定化へ！」

財政の硬直化へつながる義務的経費の削減を進め、人口・財政規模に応じた予算編成を求める。

上之園

私の判断

（○…賛成、×…反対
欠…欠席、－…表決権なし）

※議長は表決には加わりません。
※議員個人に関係のある案件の場合、表決には加わりません。

1月の議案審議結果　（令和８年1月9日・30日）

		結果	肥後玄十	平瀬十助	上之園健三	後藤道子	森田重義	水谷俊一	津崎淳子	田中明郎	松元勇治	大坪満寿子	浪瀬敦郎	木佐貫徳和
議案	南大隅町職員給与に関する条例の一部を改正する条例制定の件　他３件	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	－
	令和７年度南大隅町一般会計補正予算（第10号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	－
	令和７年度南大隅町国民健康保険事業特別会計補正予算（第３号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	－
	令和７年度南大隅町診療所事業特別会計補正予算（第４号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	－
	令和７年度南大隅町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計補正予算（第５号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	－
	令和７年度南大隅町介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計補正予算（第３号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	－
	令和７年度南大隅町水道事業会計補正予算（第５号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	－
	南大隅町高齢者支援センターの指定管理者の指定について議決を求める件	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	南大隅町老人福祉センターの指定管理者の指定について議決を求める件	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	南大隅町佐多岬ふれあいセンターの指定管理者の指定について議決を求める件	否　決	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	－

次のページで詳しく

3月の議案審議結果　（令和８年2月27日・3月19日）

		結果	肥後玄十	平瀬十助	上之園健三	後藤道子	森田重義	水谷俊一	津崎淳子	田中明郎	松元勇治	大坪満寿子	浪瀬敦郎	木佐貫徳和
議案	令和７年度南大隅町一般会計補正予算（第12号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	令和７年度南大隅町国民健康保険事業特別会計補正予算（第４号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	令和７年度南大隅町診療所事業特別会計補正予算（第５号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	令和７年度南大隅町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計補正予算（第６号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	令和７年度南大隅町介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計補正予算（第４号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	令和７年度南大隅町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第２号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	令和７年度南大隅町水道事業会計補正予算（第６号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	令和７年度南大隅町下水道事業会計補正予算（第３号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	請負契約（５災第336号道路災害復旧工事）の締結についての議決の一部変更について　他２件	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	財産（はまゆう保育所）の無償貸付について議決を求める件　他１件	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	南大隅町過疎地域持続的発展計画の変更について議決を求める件	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	南大隅町報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定の件	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	令和８年度南大隅町一般会計予算について	原案可決	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	－
	令和８年度南大隅町国民健康保険事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	令和８年度南大隅町診療所事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	令和８年度南大隅町介護保険事業（保険事業勘定）特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	令和８年度南大隅町介護保険事業（サービス事業勘定）特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	令和８年度南大隅町後期高齢者医療事業特別会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	令和８年度南大隅町水道事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	令和８年度南大隅町下水道事業会計予算について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
同意	監査委員の選任について同意を求める件	同意可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	南大隅町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件　他３件	同意可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	南大隅町特用林産物出荷加工センター条例の一部を改正する条例制定の件	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
議案	南大隅町半潜水型水中展望船待合所の指定管理者の指定について議決を求める件	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	南大隅町漁船保全修理施設の指定管理者の指定について議決を求める件	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	南大隅町過疎地域持続的発展計画の策定について議決を求める件	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－
	令和７年度南大隅町一般会計補正予算（第13号）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－

←次のページから

3月会議 一般質問

9名が登壇

町政を問う

一般質問は、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に疑問点を資すものです。一人当たり持ち時間は、答弁を含め60分です。掲載内容は質問者自身が要約し、広報広聴常任委員会で校正したものです。

本会議の様子をYouTubeにて配信中です

▼チャンネル登録はこちら

https://www.youtube.com/@minamiosumigika

南大隅町議会　検索

Pick up!!

指定管理　南大隅町佐多岬ふれあいセンターの指定管理者の指定について議決を求める件

否　決

令和８年１月30日提出された、

議案第52号　南大隅町佐多岬ふれあいセンターの指定管理者の指定について議決を求める件は、同日、審議され、質疑の後、２名の反対討論と、１名の賛成討論が行われた後、採決され、反対多数で否決されました。

その結果、同日提出されていた、議案第53号　令和７年度南大隅町一般会計補正予算（第12号）は議案取下げとなりました。

私たちがそれぞれの立場で討論しました

YouTube 用の二次元コードから議員の発言の詳細が確認できます

反対

平瀬議員

莫大な資金を要する事業を十分な調査や説明もなく、議論もなされないまま、議案として出されたことに疑義が残る。町民の生活や町の将来を考えると、この議案はリスクが高すぎる。

大坪議員

住民からは経済的負担に対する懸念の声やホテル再開より避難所を望む声が多く聞かれ、９月の事業者からの説明も抽象的で不安を感じた。住民に十分に説明し、意見を聞いてからの判断でも遅くない。

佐多岬ふれあいセンター再開の行方は…

賛成

田中議員

町民から佐多岬ふれあいセンターの早期再開を望む声が多数寄せられている。今回の指定管理予定事業者の運営計画にも強い意志が感じられ、観光振興・地域活性化・雇用創出に不可欠な施設として期待できる。

佐多岬ふれあいセンター

津崎 淳子 議員

詳しくはYouTubeで

マイナンバーカードのトラブル等はあるのか

町長　発生はないが、紛失等の相談はある

議員　マイナンバーカードを利用してのメリットは。

課長　各種窓口での本人確認書類となり、マイナポータルの利用で、行政手続きが簡略化され、各種証明がコンビニ等で取得できる。

議員　利用することにより、町民の利便性も良くなり、職員の仕事の効率化にも繋がる。

マイナ保険証に関するトラブル等はないか

課長　大きなトラブルはないが、自分のマイナンバーカードが保険証として使用できるかの確認の問い合せが一番多く、希望により、紐づけして利用可能にしている。

議員　病院でも、マイナンバーカードをカードリーダーにかざせば、マイナ保険証に紐づけされているかが分かり、していなければ、その場で登録できる。

　マイナ保険証から、医療・薬剤情報などを知り得るが、他の個人情報を知ることはできない。マイナ保険証の情報を利用して、昨年10月よりマイナ救急が施行、実証運行されている。

　マイナ救急とは、救急隊が傷病者のマイナ保険証を活用して、通院歴や服薬情報等を把握することにより、救急活動や搬送先の病院の選定が迅速にでき、素早い搬送に繋がる。個人情報の取り扱いにも厳重に対処している。病気の方や救急搬送される方にとってマイナ保険証は、かかせない。

総務省消防庁のホームページより

利用促進に向けた取り組みは

町長　今後もさらなる登録者の増加と継続して利用できるための更新手続きの促進を行う。直接窓口にお越しになれない方への対応として、施設等に出張登録申請サポートも引き続き積極的に行う。

議員　マイナンバーカードを、持っているだけでは意味がなく、安心して便利に活用できる仕組みづくりと、丁寧な周知と支援を続けて進めることが必要だと考える。

議員のひとり言　マイナ保険証があることで、迅速な救急搬送に繋がります

松元 勇治 議員

詳しくはYouTubeで

SNS、

議員　観光、移住者、子育て世代、起業家、企業への発信は。

町長　移住、定住フェアなどにも参加し、町の魅力を説明し、アピールしている。

議員　半島隅くじら元気市の今後の展開は。

も、それぞれのブースの人たちが、発信力を持って対応している。地域を身近に感じることができるような魅力発信を引き続きしていただきたい。

買物支援について、きめ細やかな対応をどのようにするのか

町長　ニーズ調査を踏まえ、展開に向け検討

議員　2年ほど前から移動販売車に予算をつ

町長　担い手確保の観点からも移動型商店街買物支援実証事業の結果を踏まえ、協力隊導入の可否も含め検討すべき。

議員　町の魅力度を発信することにより地域おこし協力隊はこの町の魅力を研究し、何か地域に役立つための手段を考えると

ひとりの魅力度発信が郷土愛につな

詳しくは
YouTubeで

大坪 満寿子 議員

農業振興策について

町長 各機関と議論し判断していきたい

議員 今回の寒波による農作物の被害状況と今後の対策は。

町長 主にバレイショの被害が大きく、3082万円の被害額。現在、被害作物の樹勢回復に使用した液体肥料代の助成手続きを進めている。

議員 ※バレイショ共済の加入率を引上げるためにも掛金の補助率を上げる考えはないか。

町長 補助率を上げても増えない現状がある。今後も農協とも連携をはかりながら検討していく。

議員 なんぐうバレイショへの今回の葉面散布助成は農家に大変喜ばれている。農業は本町の基幹産業。今後も共済掛金の推進、被害回復対策の助成等の継続が必要だと考える。

※バレイショ共済とは
天候不順等で収量が減った場合に支払われる制度

資材等の値上がりに対する助成は

町長 町を含め、国・県の全体の流れの中で議論し、判断していく。

議員 農業従事者の方が元気なら、地域が活性化し、所得向上に繋がる。そのための施策実現を。

観光の町として沿道の景観をどう考えるか

町長 景観整備も観光振興の重要な要素と認識している。

議員 観光ルート景観整備委託事業は県道68号線沿い佐多方面だけに適用されているが、諏訪神社から雄川の滝区間は整備できないか。

課長 佐多地区は県道の道路占用許可を受け、整備をしている。諏訪神社と雄川の滝間は沿道の所有者等の調査が必要なので、即答できない。

議員 観光ルート沿いの放棄地等に花などを植え、管理する考えは。

町長 周辺住民の方々がスマイル補助事業、地区公民館等の補助事業を活用して行っていただければ、町道の路肩など難しい部分は行政で手伝える。

議員 更なる観光振興のため、地域の安全のため、そして環境を守るためにもきれいな町であってほしい。各課には素晴らしい企画が多くある。今後の連携に期待する。

議員のひとり言
今の時代、訪れる観光客がSNS等で情報を拡散してくれる。

町の魅力度発信の方法は

町長 町のホームページやイベントで発信

町長 今年度の反省点、課題を整理し、集客力のあるイベントとなるよう進めていく。

議員 イベントのもう一つの目的は南大隅町を知ってもらうこと。来訪してもらうことにより地元で、物を消費してもらい、食事をしていただくために

2月に行われた元気市のチラシ

けているが、これまでの成果は。

課長 移動販売車購入補助については手を上げる方がいない。

議員 地域課題に対する地域おこし協力隊の配置はできないか。

思う。担い手不足になっている自治会の運営の手助けなどしてもらえる人材を採用する必要があると考える。

議員のひとり言
町民一人
がります

水谷 俊一 議員

詳しくはYouTubeで

喫緊の課題とする「人口減少対策」具体策は？

町長　移住定住促進、関係人口拡大、子育て支援の継続

議員　これまで国は「地方創生」の中で人口減少対策や東京への一極集中の是正、つまり、地方からの人の流出を止めることを主眼に置き様々な施策を実施してきた。しかし、昨年12月閣議決定された「地方創生2.0総合戦略」では、人口減少及び東京への一極集中、地方からの人口の流出は止められないと言っている。人口が減るのは当たり前であり、人口が減っていく中で、どの様に住民の基本的な生活や公共サービスを維持し、経済成長を促していくかを考えるべきだと言っている。そのために、※関係人口を生かし、都市と地方の間で、人、物、技術の交流、分野を超えた新たな結びつきの流れをつくるべきだと言っている。それでは、この、関係人口をどのようにとらえているか伺う。

町長　人口減少が進む中、町と多様に関わりを持つ関係人口は、地域の課題解決や地域活性化、ふるさと納税をはじめ、その先の移住定住につながる重要な方々であり、関係人口の創出、拡大は本町にとっても重要な取り組みであると認識している。

※関係人口とは　町やそこで暮らす町民と様々な形で、継続的に関わる、町外の人々のこと

議員　地方再生の最大の課題は、住民の主体性の欠如だとよく言われている。地域再生をする中で、関係人口とされる、都会に住みながら、そこでの生活経験、知識を持って、南大隅町で、南大隅に足りない部分を補いながら、主体的に活動される。そこで触れ合った、地域住民の方々も、主体性を持ってまた動き出す。そんな好循環が産まれることを期待している。最後に、町長の考えるふるさと住民登録制度と、そのメリットを伺う。

町長　関係人口拡大創出事業などで関わりができている方々を当該制度の登録につながる次のステップへの仕組みづくりとして検討したいと考えている。ふるさと住民登録制度につなげることで、関係人口として可視化でき、二地域居住や移住定住につながる仕組みが可能と考える。

議員　ハードルの高い移住定住のみでなく、ふるさと住民登録制度を活用し二地域居住を促進し関係人口を増やしていくことも重要。その方々からは「ふるさと納税」を頂き、返礼品として、一部、行政サービスを提供していくことも事業促進につながると考える。

議員のひとり言　重要なことは、残りたい、戻りたい、行ってみたいと思えるまちづくり

森田 重義 議員

詳しくはYouTubeで

能登視察の教訓と情報の即時性

議員　視察の教訓をどう本町に活かすのか。情報の即時確保のため、消防団アプリの導入で共有体制を強化すべきではないか。

デジタル活用による団員の負担軽減

議員　団員の高齢化減少が深刻だ。冠水検知器等の導入など、デジタル技術で危険箇所の見回り負担を軽減できないか。

機能別分団の新設と運用方法

議員　提案された「機能別分団」の具体的な運用において、自治会や地域づくり団体とどのように連携・協働体制を築くのかを整理し実効性のある防災力強化につながる制度設計を求める。

効率的な予算執行と優先順位

議員　限られた予算をどう使うのか。本町の現状に即した指令車車両の選定や、配置状況にあわせ、タンク車等の配備など、防災体制の強化を優先すべき。

町長　国の支援制度が五年間延長することと

に！知見を実効性のあるまちづくりに。

後藤 道子 議員

福祉政策について

町長 本町独自の必要な施策を構築する考え

議員　本町独自の施策を構築するために、町民の声や地域の実情をどのように把握し、施策へ反映していく考えか。

町長　介護福祉課では、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、生活実態や介護ニーズを把握する調査を実施し、現在集計を進めている。地域包括ケアシステムの構築、推進の基礎資料として活用する。

議員　今後重点的に取り組む福祉分野はどこにあると考えるか。

町長　日常生活の支援を重点的に考えている。

議員　本町の人口減少は今後も続くと考えられるが、そのような状況の中で、現在の行政サービスの水準を将来に亘って維持できると考えているか。

町長　維持していくべきだと考えている。

ねじめ温泉・ネッピー館利用券として使えるほか、はり・きゅう券やタクシー利用券など、なんたんカードで利用できる行政サービスも増えてきている

なんたんカード

男女共同参画推進の進捗状況を伺う

町長　本町の女性管理職の登用の状況は20％、各種審議会等においては、50％以上の審議会もある。

議員　令和7年12月の一般質問で、審議会への女性参画について、総合振興計画では令和5年度37.6％から令和11年度50.4％へと促進するとの答弁があった。また、防災会議に女性がいなかったが、2月に開催された結果を伺う。

町長　2月に防災会議を行い3名の参加をいただいた。

議員　男女共同参画基本計画を改訂されるとのことだが内容は。

町長　平成28年4月に作成した男女共同参画基本計画について、国、県の動向やこれまでの課題や成果、社会変化や意識調査を踏まえ、地域・企業・住民と連携しながら男女が共に活躍できる社会の実現に向け、計画を改訂する。

議員　人口減少が進む本町では、男女が共に地域を支える環境づくりが重要。計画は実効性ある見直しとし、条例制定の実現を期待する。

議員のひとり言　誰もが安心して暮らせる町にしたいなあ

能登の教訓を本町の力に！

町長 特性に応じた防災体制の重要性を再認識

町長　視察結果を訓練計画に反映させる。迅速な情報伝達と共有の仕組みを検討する。

消防団アプリ活用
（イメージ写真）
【自治体通信より】

町長　ICTやデジタル技術の導入は団員の安全確保と負担軽減に有効。現場のニーズを把握し、導入の協議をしつつ検討していく。

内水氾濫による被害
【根占地区】
（諏訪下公民館まえ）

町長　特定の役割を担う消防団OB分団の新設により、初期消火等に対する後方支援で実効性を高める。

東京消防庁（HPより）

なり、防災対策に必要な活用を計画し行う。タンク車等の配備は今後の検討課題として考える。

〈議員提言〉

横浜消防局（Xより）

議員のひとり言　視察を成果

詳しくはYouTubeで

肥後 玄十 議員

自主財源確保への具体的な取り組みとは

町長 支援の拡充で安定した経営の下支えをする

議員 昨年6月の一般質問でも提案したが、「町の営業マン」のようなポジションで事業者同士をマッチングさせる考えはないか。

町長 今の職員数では厳しいが、そういう志を持った地域おこし協力隊を募集することは可能である。

議員 移住に力をいれたいとのことだが、例えば、本町に移住すればこういう稼げるサポートがあるから自分の事業も安定するということがアピールできれば移住者も増える要因の1つになるのではないか。

町長 「すみずみみなみおすすみ」で、すみっこ留学という農業提供のメニュー等もあるので、移住定住に関してはそちらを活用することをすすめている。

議員 全国でみると地方交付税不交付の自治体もあるが、本町はどうか。

町長 令和8年度の当初予算の歳入に占める自主財源は20．2%である。基幹産業である農林水産業が自前で稼ぐことが1番重要だと認識している。

議員 「地方創生2．0」の記載に、稼げる地方・稼げる経済の創出とある。県の見本になるような取り組みを期待したい。

有害鳥獣の捕獲後の処理は今後どのように考えるか

町長 現状のまま埋設等で処理していく

議員 埋設するにもいずれ限界がくると考える。本町にはジビエ料理屋や加工場等があるわけでもないが、どのように考えるか。

町長 食用とするにしても、捕獲後1時間以内の処理等、衛生的な要件もあり、精肉として販売するよりも捕獲費用を上げてほしいといった意見が多いところである。

議員 捕獲後のイノシシと鶏糞を使用して、肥料化の試験をしている企業がある。肥料化がうまくいけば、本町の一助にもなるのではと考えるが、いかがか。

町長 有害鳥獣の捕獲後の処理は猟友会も非常に苦慮している。実績のある先進事例があれば、皆さんと協議した中で取り組めればと考える。

議員のひとり言

一目置かれるような町独自の「稼ぐ力」の政策がないと…。

詳しくはYouTubeで

平瀬 十助 議員

議員 マニフェストに掲げる総合振興政策から、根占新港整備、漁港・商港分離について、現在の進捗状況は。

町長 県からも事業の基本となる計画を作成するということで、承認を得られた。今後の展開についても、県のアドバイスを

かなければならない。県、国への更なる働きかけは。

町長 まだ計画段階であり、実施に向けてスタートするまでには、なすべき課題が様々あるが、地域住民の総意で、事業が円滑に実施段階に進むことを願いつつ、きっちり取り組んでいきたい。

原油価格上昇を踏まえた本年度の支援予定は

町長 町民のための対策は行っていく考え

議員 すぐに価格に転嫁できない業種、例えば、船を動かす業種や運送

定だが、国の動向を踏まえた上で対応していく考え。

議員 今年度100億近くの予算を計上しているが、財源は大丈夫か。

町長 神山小体育館が10億4千万、肝属郡医師会立病院が16億と突出しているが、他については

つを大切に。ひとりひとりを大切に。

詳しくはYouTubeで

田中 明郎 議員

現在までのふるさと納税の取り組みについて

町長 返礼品を積極的に進めて納税金額１億円目標

議員　ふるさと納税の取り組み、返礼品や事業者の数は。

町長　中間事業者と連携し、ものづくりの提案や制作ニーズに合う商品の確立を進め、持続・安定的な寄付額の確保が可能と考えている。６年度の返礼品の数は３２７、事業者数は56。

議員　ふるさと納税金額・返礼品の目標設定は。

町長　町内産の品物を有効活用し、一億円を目指している。

議員　今後の取り組み、新たな返礼品の開発計画は。

町長　中間事業者と連携し、ものづくりの提案やセット商品、ニーズに合う返礼品の検討を積極的に行い、主力となる商品の確立を進めていく。

議員　牛肉表示不正について、担当課としての取り組みを伺う。

課長　本町では直接の取引はない。担当者で調査中。

議員　事業所が新たに商品開発に取り組む際、建物や機材の資金など開発事業者に支援は考えられないか。

課長　店舗改修や機材の更新は、施設等支援事業で対応できる。

議員　ふるさと納税は町民にどのように還元されたか。

町長　農業振興の入植促進事業・定住促進住宅取得資金補助金等に充てている。

ガン検診の個人負担額を無償に

町長 無償化も含め検討する

議員　南大隅町健康増進計画の推進により、町民の健康に対する意識はどのように変化したか。

町長　各種の健康増進対策事業を実施している。健康意識については数値等を検証していく。

議員　ふるさと納税を活用して各種検診の受診率の向上・早期発見・早期治療で医療費の削減につなげる考えはないか。

町長　早期発見、早期治療は重要で、個人負担割合や無償化も含め、今後物価による経済の動向も踏まえて検討する。

議員　町民の検診率の向上、早期発見、早期治療で医療費の削減に取り組んでいただきたい。

議員のひとり言　ふるさと納税の恩恵を町民に還元できれば

公約の達成状況の自己評価は

町長 持続可能なまちづくりに努めている

受けながら取り組んでいる。

議員　根占港は商港であり、これだけ混雑した港はない。そういう中で、県も調査に入り、現港を漁港とし、商港を作る根占新港整備計画があると認識している。この計画は町の経済発展には欠かせない事業であり、町長がレールを敷

混雑する根占港の様子

業、ボイラーを焚く業種の方にとっては、燃油が上がれば、事業継続も難しい。町も危機感を持って経済の下支えをするべき。対応策は。

町長　バス事業者、運送業者等へは、これまで町としての支援はなかったので、具体的な方法は未

従来と変わらず、全体としては絞った予算。財源としては病院が、30年元利均等払いの起債、小学校体育館は国庫補助と教育関係の有利な起債を活用する。長期的に見て大きな物件は今がピークで、財政的にも成り立つという判断。

議員のひとり言　ひとつひと

学んで活かす〜全議員研修〜

鹿児島市において行われた、鹿児島県町村議会議長会主催の研修会及び町独自研修に参加しました。

○1日目（令和8年1月20日）

▼「新しい知見で自然災害から地域を守る」

講師　危機管理アドバイザー　国崎信江　氏

被災地の最前線での支援活動の経験から避難所での妊産婦や乳幼児の受入れ体制の不備や家屋の耐震化の重要性についての提言がありました。

▼「新時代に求められる人材育成」〜主体性と当事者性〜

講師　教育アドバイザー　工藤勇一　氏

不登校と自殺の多い日本の教育の問題点、子どもたちに主体性、当事者性、幸福感、自己肯定感を持たせることが重要であると話されました。

○2日目（令和8年1月21日）

▼「ジェンダー平等が拓く地域の未来〜求められるアンコンシャスバイアス解消とハラスメント防止〜」

講師　ぐうてらす　印南　百合子　氏

無意識のうちにつくられた偏見や思い込み（アンコンシャスバイアス）が、生きづらさや格差を生じさせ、能力発揮を阻害する要因となっており、地域や組織の改革と、ひとり一人の意識改革が両輪で必要だと話されました。

ハラスメントについての気づきにもつながりました

「通年議会」についての研修視察を受け入れ

令和8年3月23日、大崎町議会改革等調査特別委員会からの研修視察を受け入れました。

今回の視察は「通年議会」に関するもので、南大隅町議会は鹿児島県内で唯一、平成25年度からこの通年会期制を導入しています。

木佐貫議長の歓迎の挨拶で始まり、水谷議会運営委員長から、議会の概要や通年議会について、導入経過や内容、メリット・デメリット等の説明がありました。

また、大崎町の委員の方々からも、通年議会の具体的な内容や年間の流れ、導入時の町民の反応、定数（現在12名）に関する考え方など、多くの質疑があり、活発な意見交換が行われました。

この視察が大崎町議会の「通年議会導入」に向けての取り組みの一助となれば幸いです。

「通年議会」とは…

議会の会期を1年とし、年間を通じ、議会の判断で必要に応じて会議を開ける制度です。

本町では条例で、定例会の回数を年1回、会期を4月から翌年3月までの約1年と定めることで、形式的に一つの定例会がずっと継続している状態を作り出し、議会をいつでも再開できるようにしています。

大崎町議会からは９名が来庁

所管事務調査報告

『開かれた、より強い議会へ』

広報広聴常任委員会は、住民の皆さんに寄り添い信頼される議会を目指し、1月26～27日に先進地である福岡県添田町議会、大刀洗町議会を調査しました。

そこで得た知見を活かし、以下の改革に取り組んでまいります。

1 『妥協しない』議会だよりへ

添田町議会では発行まで5～6回の編集会議を重ね、内容を徹底的に磨き上げています。本町議会も『公平中立』を堅持しつつ、毎年編集方針を見直す仕組みを作り、町民の皆さんに『届く』紙面づくりを追求します。

2 皆さんの声を直接聴く場を広げます

民生委員、消防団、公民館・サークルなど多様な団体の皆さんのもとへ議員が直接伺う『出前型』の意見交換会を強化します。いただいた声は単なる記録に留めず必ず特集ページ等で回答・報告します。

3 『言いっぱなし』を許さない監視体制

大刀洗町議会の事例を参考に、行政が議場で言った『検討する』という答弁をリスト化し、その後の進捗を厳格にチェックする仕組みや、議決前に議員同士で議論をして、最善の決断を下す仕組み等を整えることを議会で検討してまいります。

今回の調査を『単なる視察』で終わらせるつもりはありません。特に行政の『検討する』という答弁を放置しない仕組みづくりは本議会の透明性と信頼性を高めるために急務であると確信しています。

議会は住民の皆さんの代表であり、常にその期待に応え続ける責任があります。

今回掲げた提言を一つひとつ着実に実行に移し、より頼りになる議会を築き上げていきたいと考えています。

広報広聴常任委員会　後藤道子委員長

添田町議会での研修の様子

▶添田町議会は第39回町村議会広報コンクールにおいて優良賞に輝いた

先進事例を学びつつ、闊達（かったつ）な意見交換を行いました

▶大刀洗町議会は同コンクールで最優秀賞（全国1位‼）

大刀洗町議会での研修の様子

●発行：南大隅町議会
●編集：広報広聴常任委員会
●住所：〒893-2501　鹿児島県肝属郡南大隅町根占川北226
●電話：0994-24-3141（直通）

議会だより
読者アンケート

ご意見・ご感想をお寄せください。

議会だよりを手に取ってくださり、ありがとうございます。

町民の皆様に分かりやすく、読みやすく、親しまれる「議会だより」になるように改善していくための読者アンケートを実施しています。

頂戴したご意見、ご感想を今後の議会だよりづくりに生かしていきますので、どうぞ、ご協力をお願いします。

【アンケートはこちらから】
スマートフォンから手軽に回答できます

下記の二次元コードを読み取りアンケートフォームにお進みください

回答締切：５月31日

研修視察の結果を受け、見開き１ページで紙面の中央部分まで有効活用できるよう
今号から紙面にパンチ穴を開けておりません。ご了承ください。

編集後記

佐多では、春を告げる御崎祭りが２月14・15日に行われ、賑わいを見せました。佐多岬にある御崎神社の妹神が郡の近津宮神社の姉神様に新年のあいさつに行くとされる祭りで、鉾・傘・神輿が七浦（田尻・大泊・外之浦・間泊・竹之浦・古里・坂元）を巡り、神事が行われました。

コロナ禍で、これまでは車での移動でしたが、一日目は、数年ぶりに大泊の海岸で浜下りが行われました。二日目は鉾・神輿・傘が参道を上がり、近津宮神社の姉神と再会されました。境内では打ち植え祭りが披露されました。

３月会議では、町長から令和８年度施政方針が示され、議員による一般質問、一般会計予算・特別会計予算案等が提案され、慎重に審議を重ねた結果、可決としました。

今年度は、肝属郡医師会立病院建設、神山小学校体育館建設等により一般会計予算額が例年より多額となりました。

物価高騰で町民生活にも支障をきたしています。安心で安全に暮らせるよう願いつつ、皆様の声を町政に届けてまいります。

田中　明郎

表紙のウラ側

表紙は去る４月26日に行われました議会報告会の様子です。根占会場、佐多会場それぞれ、お越しくださった皆様に感謝申し上げます。

議会報告会の詳細については改めて、お知らせいたします。

〔次回定例会のお知らせ〕

６月９・10・17日に開催予定です。議会傍聴にぜひお越しください。詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

【連絡先】南大隅町議会事務局
☎0994-24-3141

〔発行責任者〕
議　長　木佐貫徳和

〔広報広聴常任委員会〕
委員長　後藤　道子
副委員長　水谷　俊一
委　員　肥後　玄十
委　員　上之園健三
委　員　田中　明郎
委　員　松元　勇治